

CFA 受験ガイドブック[レベル1]【第4版】下 正誤表

本書につき記載に誤りがありました。お詫びのうえ下記のとおり訂正申し上げます。

● P40 中ごろ

(誤) これを $\frac{-P}{(1+i)}$ でくくると、

$$= \frac{-P}{(1+i)} \left[1 \times \frac{C_1}{(1+i)} + 2 \times \frac{C_2}{(1+i)^2} + 3 \times \frac{C_3}{(1+i)^3} + \dots + T \times \frac{C_T}{(1+i)^T} \right]$$

(正) これを $\frac{-P}{(1+i)}$ でくくると、

$$= \frac{-P}{(1+i)} \left[1 \times \frac{C_1/(1+i)}{P} + 2 \times \frac{C_2/(1+i)^2}{P} + 3 \times \frac{C_3/(1+i)^3}{P} + \dots + T \times \frac{C_T/(1+i)^T}{P} \right]$$

● P41 1行目から3行目

(誤)

$$\frac{dP}{P} = -D \left[\frac{d(1+i)}{1+i} \right] \dots \dots \textcircled{3}$$

③式が示す通り、債券の価格変化率 $\frac{dP}{P}$ は利回りの変化率 $\frac{d(1+i)}{1+i}$ にデュレーションをかけることで求めることができる。

(正)

$$\frac{dP}{P} = -D \left[\frac{d(1+i)}{1+i} \right] = - \left[\frac{D}{(1+i)} \right] (di) \dots \dots \textcircled{3}$$

③式が示す通り、債券の価格変化率は利回りの変化(di)に修正デュレーション $\left[\frac{D}{(1+i)} \right]$ をかけることで求めることができる。

● P45 7行目～9行目

(誤)

~~CFA®試験ではこの $\frac{1}{2}C_v$ 全体をコンバクシティー(ここでは $C_v(CFA)$)と称している。また、価格変動幅をパーセント表示にする為に小数点表示の物を100倍するので、価格変動幅の公式は次のようなかたちとなる。~~

(正) 価格変動幅の公式は次のようなかたちとなる (金利変動幅は小数点表示)。

● P76 1行目最後

(誤) 時点から

(正) 0 時点から

以上